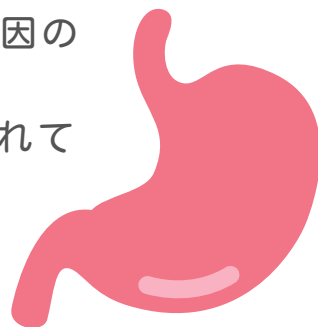


胃がん・胃がん検診について

胃がんってどんな病気？

日本では**50歳以降**に罹患する人が多く、がんによる死亡原因の上位に位置しています。

胃がんの原因については、いくつかのリスク要因が指摘されており、中でも**ヘリコバクター・ピロリ菌の持続感染**と、喫煙や食生活（塩分が多い食品の過剰摂取・過度の飲酒・野菜や果物の摂取不足など）などの生活習慣が、胃がん発生のリスクを高めると言われています。



検診で早期に発見して治療することにより、胃がんで亡くなることを防ぐことができます。 検診は**自覚症状***がないうちに受けることが大切です。

※胃の痛み・不快感、食欲不振、食事がつかえるなどの症状がある場合は、次の検診を待たずに医療機関を受診してください。

胃がん検診について

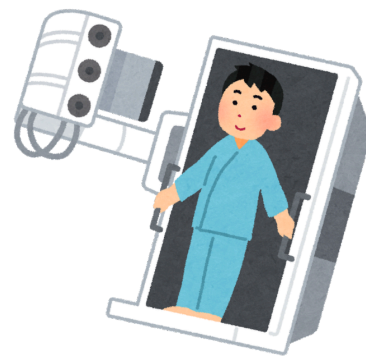
松伏町では、国が「**死亡率を減少させることが科学的に証明された**」有効な**検診**としている**胃部X線検査**を、国が推奨する方法で実施しています。

胃がんの中には急速に進行するがんもあるため、**40歳になったら年に1度、継続して受診し、「要精密検査」という結果を受け取った場合には必ず精密検査（胃内視鏡）を受けるようにしてください。**

●胃部X線検査（バリウム検査）

発泡剤（胃を膨らませる薬）とバリウム（造影剤）を飲んで、胃の形・粘膜などの状態や変化をX線写真で確認する検査です。

検査後、バリウムで便秘になったり、腸内で詰まって腸閉塞を起こすことがあります。



「胃がん」「がん検診」などの情報についてもっと詳しく知りたい方へ

国立がん研究センターの『がん情報サービス』では、わかりやすく確かな情報をお届けしています。

がん情報サービス



ganjoho.jp

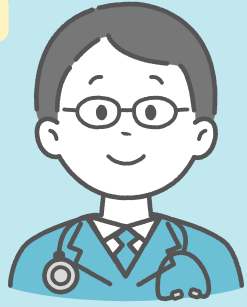


～バリウム検査を安全に受けていただくために～ 『バリウム検査を受けられない方』がいます

『受診者様に安全に検査を受けていただけるか』を判断するための安全基準が設けられています。

表Ⅰに該当する方は、バリウム検査を受けることができません。また、表Ⅱに該当する方は、原則検査不可ですが、医師(検診機関)の判断により受診できることがあります。

該当する自覚症状や既往歴がないかをご確認のうえ、お申込み・受診いただくようお願いいたします。



表Ⅰ 検査を受けられない方（禁忌要件）

消化管の閉塞・穿孔やその疑いがある方

バリウムが腸内に停滞し固まってしまうことで、重篤な合併症の恐れがあります。

消化管出血(吐血・血便)や強い腹部症状(腹痛など)がある方

バリウムが腸内に停滞し固まってしまうことで、重篤な合併症の恐れがあります。

過去の検診でアレルギー症状が出たことがある方

さらに重い症状が出る恐れがあります。

呼吸不全がある方(片肺切除術後や常時酸素吸入している方など)

撮影時の息止めが困難で検査が実施できなかったり、誤嚥の恐れがあります。

腎不全にて透析中の方、心不全で水分制限を受けている方

検査後に十分に水分摂取ができないためバリウムの排泄困難の恐れがあります。

急性心不全や重篤な不整脈などの心疾患がある方

検査時の負荷により再発の恐れがあります。

全身状態が悪く検査に耐えられないと判断された方

安全に検査することができません。

妊娠中の方やその可能性がある方

胎児への安全性が確立されていません。

表Ⅱ 原則検査不可だが医師(検診機関)の判断で実施可能な場合がある方

- 腸閉塞や腸捻転、大腸憩室炎として治療を受けたことがある方
- 食道・胃の外科的手術もしくは内視鏡治療を受けて1年以内の方
- 医療機関で定期的に胃内視鏡検査を受けている／受ける予定がある方
- 大腸・小腸の外科的手術を受けて1年以内の方
- 炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病)で治療中の方
- 肝臓・膵臓・胆嚢・婦人科などの手術を受けて6か月以内の方
- 検査前72時間以内に排便が全くない方
- 過去の検診で検査が中止になるようなバリウム誤嚥を起こしたことがある方
- 寝返りや立つ時に日常的に介助が必要な方
- 水頭症で脳室-腹腔シャント(V-Pシャント)を施行している方
- ペースメーカーや植込み型除細動器(ICD)を装着している方
- 撮影機器の体重制限(※)を超えている方 ※検診機関によって異なる。

表Ⅲ その他注意事項

- 検査当日(検査前)に、飲食した場合やインスリン注射や血糖降下剤を服用した場合には、検査を受けられないことがあります。
- インスリンポンプ・持続グルコース測定器を装着していても、検査前後に自身で取り外し・装着ができれば検査可能です。
- 自力で体位変換できない・身体を支えることができないなどの場合は、転倒・転落の危険があるため、検査を中止することがあります。
- 検査前夜からの禁食・水分摂取、検査当日の内服などについては、検診機関の指示に従ってください。

松伏町の胃がん検診について



40歳以上の方ですか？

いいえ

申し訳ありませんが、自治体を実施する胃がん検診は「**40歳以上の方**」が対象です。

はい

今年度(4月以降)初めての受診ですか？

いいえ

胃がん検診は**年度内に1回**です。推奨されている以上の頻度での受診は、利益よりも不利益の方が上回る可能性があります。なお、**年度内に2回以上受診された場合は、検診にかかった費用を全額自己負担していただきます**ので、ご注意ください。

はい

胃の痛み・不快感、食欲不振などの自覚症状はありませんか？

ある

検診は自覚症状が無い方を対象としています。**自覚症状がある方は、診療を受けることをお勧めします。**

はい

『バリウム検査を受けられない方』に該当する項目はありませんか？

ある

申し訳ありませんが、安全に検査ができないため、町の胃がん検診は受けられません。

はい

集団検診

個別検診

40~74歳

6月の指定日

保健センター・町役場

1,000円(※)

町国保加入者：専用ハガキにて申込
町国保加入者以外：スマホ町役場or
電話にて申込

6~12月

町内指定医療機関

3,300円(※)

指定医療機関へ申込

75歳以上

申し訳ありませんが、
安全確保の観点から、
集団検診は実施していません。

6~12月

町内指定医療機関

無料

指定医療機関へ申込

町内指定医療機関 (50音順)

● 埼玉あすか松伏病院 ☎048-992-0411

● 埼玉筑波病院 ☎048-992-3151

※検診費用

以下の方は、保健センターへ**事前申請(当日申請不可)**いただくことで**無料**で受診できます

- 住民税非課税世帯の方：本人確認書類をお持ちください。
- 生活保護を受給されている方：受給証をお持ちください。